

ミャンマー、中国災害支援（報告と御礼）

本年5月3日ミャンマー南部デルタ地帯を襲ったサイクロン、同12日に発生した中国四川省の大地震、PHJも直ちに被災者支援募金を行わせていただきました。ここにその結果を報告させていただきます。皆様の温かいご支援に心から御礼申し上げます。

1. ミャンマーサイクロン（死者不明者14万人）

従来から同国内で障害者支援をしていた日本のNGO「難民を助ける会」を通じて生存必需物資袋を被災家族に届けました（支援金2,161,214円）。

①イラワジデルタで孤立したセイジー村の290世帯1450人に手渡し。7月初旬に実行。



緊急物資袋つめ中のボランティア

内容は米50kg、食用油、豆、塩、石鹼、ビニール布等（現地調達値7千円、5人家

族1ヶ月分）。

②この村を含め政府、国連の支援が何も届かず飢餓状態にある地域が未だに残っています。

2. 中国四川省地震（死者不明者8.7万人）

四川省唯一の子供病院「成都市児童医療センター（CCH）」に児童のメンタルケア組織を立ち上げます。（支援額1,739,848円）。

①CCHの看護師4人を「上海児童医療センター（SCMC）」内で2.5ヶ月間教育します。また専門家による四川出張指導や、教材作りも行います。



親を失った子供のケアはこれからが本番（写真中央はSCMC 季医師）

②PHJは中国先進病院であるSCMCと10年来の友好関係にあり、ここと合意書を結んで支援を実施します。

巻頭言

眼に輝きを、唇に歌を！



溝口 文雄

横河電機株式会社 社友

八月に定例のPHJの理事会・総会が開催され、事業報告が行われました。いつものことながら、厳しい環境の中で献身的に活動されている伊藤さんや中田さんそして現地のスタッフの方々のご苦労には本当に頭が下がります。

ところで、わたしはPHJや多くのNGO、また海外青年協力隊の人々の発展途上国や被災地での活動をテレビで観るたびに、いつも強く感ずることがあります。

それは取材に対して答える子供達の眼がキラキラと輝いており、みな感謝の気持ち一杯に、将来の夢を話すことです。『お医者さんになりたい』

『看護婦さんになって病気の人を助けて』『学校の先生になるんだ』…と。これに比べ、日本の子供たちの眼がいかに輝きを失っているか。そして、将来に対する夢や目標を持ってないことか。

『将来とくになりたいものはない』『分からない』『別に...』という答えには淋しい想いを抱かざるを得ません。

終戦後の食べるものもろくに無く、アメリカからの援助物資で育ったわれわれの世代は当時を振り返ると、貧しかったが将来への夢や希望があって、毎日が楽しかったことを思い出します。

豊かであることが本当に幸せなのか？いや、豊かさこそが人々の心を蝕み、感謝の心や将来への夢を奪っていると思えてなりません。

日本にきた外国人が驚くことは、「日本では口笛を聴いたことがない。ということだそうです。明るい幸せな心がないと口笛は決して吹けません。豊かさとは貧しさ、そして本当の幸せとは何かを考える昨今です。

● FY2008報告およびFY2009計画 ●

2008 決算および 2009 予算

(単位：円)

科 目	2008 決算	2009 予算
I. 収入の部		
1. 現金寄付	83,774,042	95,000,000
法人	64,591,140	76,300,000
個人	8,015,500	8,500,000
パートナー	2,349,000	2,200,000
一時寄付	8,818,402	8,000,000
2. 商品寄付	6,090,170	
3. 公的補助金	200,000	18,600,000
当期収入 (現金)	83,058,563	113,600,000
当期収入 (商品)	6,090,170	
当期収入合計 (A)	89,148,733	113,600,000
前期繰越 (現金)	50,382,671	50,837,764
〃 (商品)		
収入合計 (B)	139,531,404	164,437,764
II. 支出の部		
1. 事業費	65,545,221 (73.9%)	89,390,000 (78.7%)
現金	59,455,051	89,390,000
商品	6,090,170	0
2. 募金活動費	12,669,498 (14.3%)	14,340,000 (12.6%)
人件費	8,105,480	8,840,000
経費	4,564,018	5,500,000
3. 管理費	10,478,921 (11.8%)	9,870,000 (8.7%)
人件費	3,413,500	2,870,000
経費	7,065,421	7,000,000
支出合計 (C)	88,693,640 (100%)	113,600,000 (100%)
現金	82,603,470	113,600,000
商品	6,090,170	0
III. 次期繰越 (B - C)		
1. 現金	50,837,764	50,837,764
2. 商品 (在庫)	0	0

2008 事業費内訳 (現金+商品)

(単位：円)

支援事業	現金	商品	合計
タイ	18,861,512		18,861,512
インドネシア	23,099,343	5,790,170	28,889,513
カンボジア	15,203,012	300,000	15,503,012
イラク	385,990		385,990
災害支援	1,905,194		1,905,194
計	59,455,051	6,090,170	65,545,221

監査報告書

ピープルズ・ホープ・ジャパン

理事長 甲谷 勝人 殿

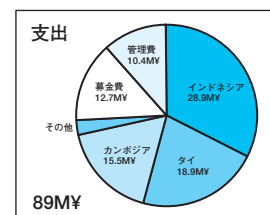
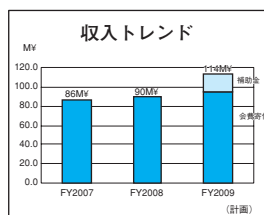
私はピープルズ・ホープ・ジャパンの2008年度の事業報告書および決算書を監査した結果、いずれも適正妥当なるものと認めます。

2008年8月7日

監事 吉村 文吾

2008 年度活動報告

1. 会計報告



2. 支援活動報告

タイ支援 (総事業費 1886 万円)

① エイズ予防教育

チェンマイ地区の二つの大学やベトナム医科大学学生に予防啓発活動を継続しています。

これらマスタートレーナーにより、ピア教育者へのトレーニングで効果をあげました。

② 子宮頸がん予防教育 ③ HOPE パートナー教育

④ 小児先天性心臓病手術

インドネシア支援 (総事業費 2889 万円)

① 安全な水確保事業

「母子健康事業」地域は、非衛生な河川の水しかなく、感染症や、安全な分娩確保に課題を抱えています。そこで90mの深井戸を掘り、ソーラーパネルと高効率ポンプを利用したパイロット深井戸を建設し、給水を開始しました。

② 母子健康プログラム ③ 画像診断技術教育

④ 口腔衛生予防教育

カンボジア支援 (総事業費 1550 万円)

① 母子保健改善プロジェクト

農村部の保健センターが適切な母子保健サービスが提供できるように、(1) 保健センタースタッフの技術力向上、(2) 保健センター運営力強化、(3) 地域での母子保健知識・情報共有、(4) 地域の保健状況改善を展開しています。

② 助産師トレーニング ③ 画像診断技術教育

災害支援 (総事業費 190 万円) ……2008 年実施分

支援活動の写真



待望の水が出た！水質もよい(インドネシア)



村人への保健衛生教育 (カンボジア)



中高生を対象の AIDS 予防教育 (タイ)



災害食糧支援 (ミャンマー)

第13回理事会

8月21日（木）東京国際フォーラム会議室で第13回理事会が開催され、2008年度の事業報告・決算報告、2009年度の事業計画・予算、および役員一部改選が討議され、すべて承認されました。

理事会にはインドネシア駐在の伊藤さん、カンボジア駐在の中田さんも出席して、役員の方々に現地での報告を行いました。

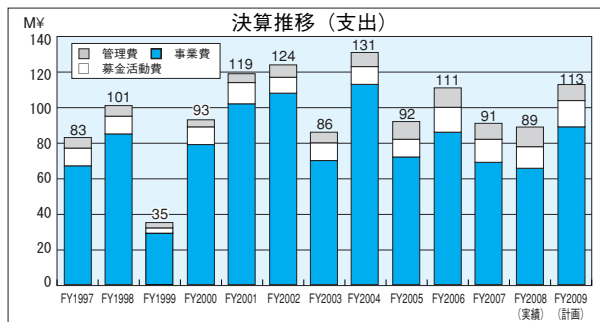
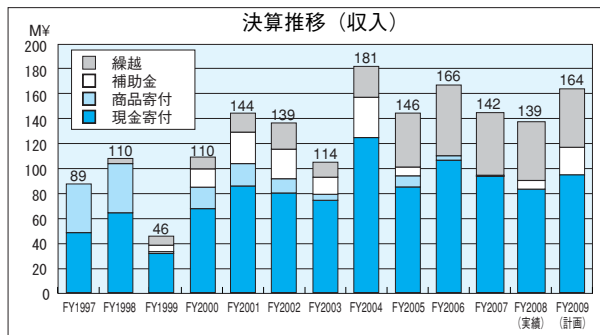


ピープルズ・ホープ・ジャパン役員

(敬称略、50音順)

- 理事長 甲谷 勝人 日本ビューレット・パッカード (株) 元社長
- 副理事長 田中 滋 慶応義塾大学 経営大学院 教授
- 理事 安西祐一郎 慶応義塾 塾長
- 〳 伊藤 伸彦 日本ゼネラル・エレクトリック (株) 元社長
- 〳 枝村 純郎 元駐ロシア・駐インドネシア大使
- 〳 後藤 幸子 武蔵野市民
- 〳 竹中 登一 日本製薬団体連合会会長
(アステラス製薬 (株) 会長)
- 〳 中島 康雄 聖マリアンナ医科大学 放射線医学教室 教授
- 〳 西澤 寛俊 全日本病院協会会長
(西岡病院理事長)
- 〳 松本 謙一 サクラ精機 (株) 会長
(海外医療機器技術協力会会長)
- 〳 溝口 文雄 横河電機 (株) 社友
- 〳 須見 彰 ピープルズ・ホープ・ジャパン代表
- 監事 吉村 文吾 AIG (株) 会長

12年間の活動を振り返って

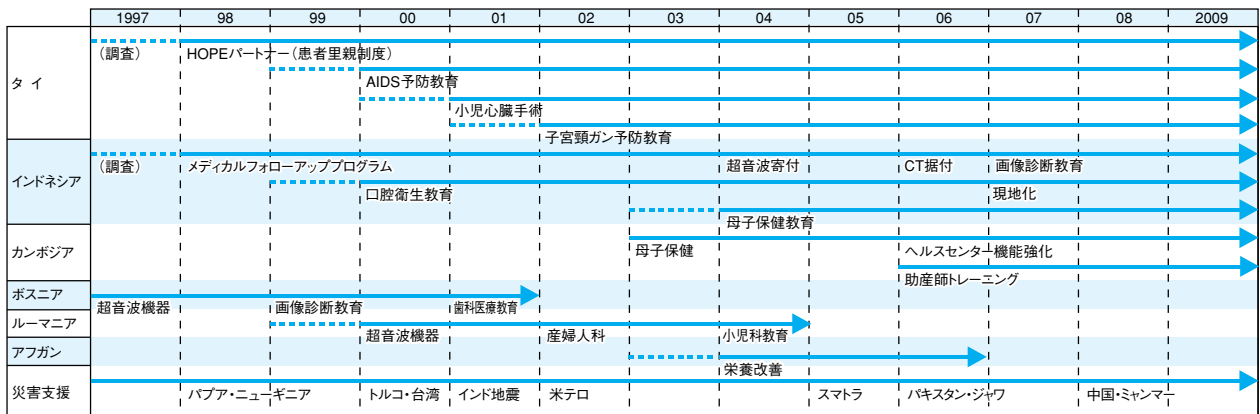


プログラム タイ・インドネシア・カンボジア3国に絞って支援活動を続けています。これら途上国の共通問題は「母子保健教育の不備による妊産婦や乳幼児の死亡率が高いこと」で、住民への保健教育を行っています。さらに「衛生的な水」の必要性が増してきたので井戸建設などインフラ整備にも力を入れ始めました。

収入 寄付の規模は発足時の2倍になりましたが、法人からの現金寄付が多いのが特徴です。なかでも企業冠募金に力を入れ賛助会費と合わせて主財源になりました。また個人会員も2000名を目標に増員努力しています。一方補助金にも再び力を入れ全体収入の20%くらいに増やしてゆきたいと思っています。

支出 PHJは他のNPOに比し経費率(募金費+管理費)の低いのが特長です。その結果、事業比率を80%以上にする努力を心がけています。すなわち真水部分を多くすることです。この実績を買われて大口寄付をいただくケースが増えました。今後とも無駄を省き一円でも多くの資金を支援費にまわすように一層努力します。

プログラム推移



インドネシア出張報告

PHJ
阿賀 敏夫

インドネシアで実施中の3つのプログラムの状況把握、関連施設の視察をして来ましたので報告致します。

1. 水事業

夏季号でも報告致しましたチャレナン診療所の医療用の水確保を目的とした環境に考慮したソーラ発電方式の深井戸の贈呈式が6月25日に実施されました。「安全な水の確保」は母子保健向上の基礎であり診療所、地域住民からとても感謝されました。



安全な水が出ました！

2. 母子健康向上活動

- ・より安全なお産を目的にしたバダリンチャン
- ・ヘルスセンターにおける伝統的産婆（TBA）さんへの医学知識の教育の場を見学しました。定着して実施されており着実に自立化していることを肌で感じました。
- ・チュルタヤサ・ヘルスセンターでの栄養改善の教育トレーニングにおいても出席者は皆熱心に聴いており、確実に地域の栄養改善向上に結びついて

いることを実感しました。

- ・バネンシュアン村での子ども達の医療改善にも使用されるタマンポシャンドウ（多目的保育園）のPHJから村への引渡式が実施されました。村長さん、子供達から多くの感謝の言葉を頂きました。



伝統的産婆さんへの教育風景

3. メディカルフォロアアップ

- ・バリのギアーニア病院の医師達への画像診断に関する講義、指導を聖マリアンナ大学の中島教授が実施しました。約20名の医師達が出席し熱心に聴講し質疑も活発でした。



タマンポシャンドウ外観

カンボジア出張報告

PHJ
石関 正浩

雨季に入り始めた7月上旬、首都プノンベンの市立病院産科での「超音波医療機器画像診断トレーニング」、田園広がるコンポントム州パラヤサントック地区での「母子保健改善プロジェクト」を視察しました。

1. プノンベン：

「超音波医療機器画像診断トレーニング」

プノンベン市立病院は、多くの地元市民に利用されている病院です。特に、産科は、対処が難しい症例が搬送され、年間約2,000の分娩数を数える国内有数の病院です。昨年よりPHJは、この市立病院産科で、日本人専門医による超音波医療機器画像診断トレーニングを実施しています。



超音波医療機器画像診断トレーニング

トレーニングも2年目に入り、カンボジア人医師同士の学びあいのシステムの構築に向けた準備も始まりました。症例記録を共通ファイルにまとめ、活用し始めました。このようなシステムを準備することで、カンボジア人医師同士が切磋琢磨し、日本人医師の関与が少なくなること

を狙っています。今回の出張では、腕を上げてきたカンボジア人医師が現場を案内してくれ、症例を記録するファイル類が活用されているのを確認しました。

2. コンポントム州：「母子保健改善事業」

この事業は、昨年末終了した「保健センター機能強化プロジェクト」の実績を活かし、コンポントム州内でもニーズの高い農村部で今年1月より開始しま



母子保健改善事業

した。農村部の保健センターが適切な母子保健サービスが提供できるようになることを目指しています。

今回は、地域の保健行政区事務所にチュム所長を表敬訪問し、地区の病院と保健センターを視察しました。保健センターでは、安全な出産のために保健センターで出産するようになったとの話を聞きました。この背景には、保健センターでの出産を推奨する政府の政策はもちろん、草の根レベルで保健行政と協働するPHJを始めNGOの取り組みが実を結び始めたためと思われます。

インドネシア、ギアーニア病院視察を終えて

聖マリアンナ医科大学
教授 中島 康雄

本年6月インドネシア、バリ島にある地域中核病院、ギアーニア病院を訪問してきましたので報告させていただきます。PHJは本病院に対してはCT、超音波機器など画像診断機器を支援し、その後継続的なプログラムで画像診断教育を行っています。プログラムはまず聖マリアンナ医科大学でギアーニア病院の診療放射線技師、放射線科医に対して画像診断、超音波診断の教育研修を行いました。その後現地でのCT、超音波検査の技術指導を行うために日本から診療放射線技師を派遣し実地技術教育を行いました。このような教育によって病院の画像診断にかかわるスタッフの意欲能力は向上したと考えていましたが臨床現場でのCT利用があまり進んでいません（去年は年間CT件数712件）。特に頭部CTの利用に比べて体幹部のCT利用、あるいは造影剤投与による検査が少なく画像のコントラストが十分でない検査がほとんどという状況でした。この現状を改善しCTをより有効に利用してもらうために実際に患者さんを見て



寄贈したCT

いる内科などの臨床医に対して体幹部のCTが如何に臨床現場で役に立つかとい

う点に絞って講演をさせて頂きました。元来、道路事情や交通マナーなど問題の多い地域ですので交通外傷



講義される中島先生

は非常に多く腹部や胸部のCTによって受傷臓器を正確に診断し素早く治療に進めることができること、また結核など特殊な感染症も胸部のCTで特徴的な所見を呈することが多く役に立つ領域は多数あることを伝えてきました。講演後は現地でも撮られた実際の写真の読影指導も行うことができました。皆さん熱心に講演後も多くの質問をいただきました。しかしそれらの中から私自身考えさせられること、また学んだことも多くとても有意義で楽しい時間でした。

今回現地を見させていただきPHJの活動が“箱もの支援”ではなく現地の方々の自立支援に焦点が絞られていることを知り、深い感動を得ました。

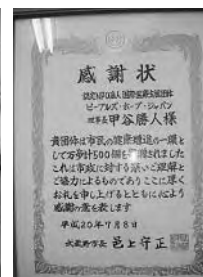
最後になりましたが現地で献身的に活躍され今回の旅を企画して頂いた伊藤さんに改めて感謝申しあげたいと思います。またシニアで生き生き活動されている横尾さん、阿賀さんには私もそう遠くない第二の人生を考える上で大いに触発されました。PHJの活動がますます現地になじんでいくことを祈念申し上げます。

『武蔵野市より感謝状』（万歩計）

ピープルズ・ホープ・ジャパンは万歩計500台を武蔵野市に寄付をしました。この万歩計はPHJの支援会社であるリシュモンジャパン様が社員健康増進キャンペーンの一環として歩くことを奨励し万歩計を社員500人に一日限り貸し出した商品で、キャンペーン終了後寄付申し入れがありました。PHJは地元武蔵野市と日ごろ協力した活動をしておりますが、PHJ理事で武蔵野市の健康づくり推進員である後藤幸子氏の橋渡しで今回の寄贈が実現しました。邑上市長から「私もさっそくこの万歩計をつけて健康増進を計りたい」とのお話がありました。



贈呈式にて（前列中央：邑上市長）



武蔵野市から贈られた感謝状

武蔵野市では『～自分の健康は自分で守ろう！～』をテーマに、健康づくり支援センターを設置し、市民の健康づくりを推進しておりタイミングの良い寄贈となりました。

感謝のリスト ピープルズ・ホープ・ジャパン (2008年9月15日現在)

*ご協力頂いている法人・団体会員 (敬称略、50音順)

- | | | | |
|-----------------------|--------------------------------|-------------------|-----------|
| 愛光プラスチック加工所 | 国際チャート | 東京エレクロナデバイス | 前田道路 |
| アイ・ダブリュー・シー | コスミック | 東京海上自動車火災保険 | 松井証券 |
| アイ・ライティング・システム | コム小電機 | 東京ガス | 松下電器産業 |
| 秋山錠剤 | 作問歯科 | 東京計装 | 松田計装 |
| 上尾中央医科グループ | サクラ精機 | 東京電機産業 | 丸石製薬 |
| 浅田鮎 | 佐々総合病院 | 東京電力 | 丸島製作所 |
| あさの | 佐藤製作所 | 東芝GEタービンコンポーネツツ | 丸新プロテック |
| 旭化成ファーマ | 佐藤製薬 | 東芝GEタービンサービス | 丸紅 |
| 旭化成メディカル | 佐藤薬品工業 | 東芝三菱電機産業システム | マルホ |
| アサヒビール | サノフィ・アベンテイス | 東芝メディカルシステムズ | 三笠製薬 |
| 味の素 | 沢井製薬 | 東薬薬品工業 | みずほ銀行 |
| アジレント・テクノロジー | 産経新聞大阪新聞厚生文化事業団 | 東邦薬品 | 三井物産 |
| アジレント・テクノロジー労組 | 三晃電気 | トーメンエレクトロニクス | 三菱ウェルファーマ |
| あすか製薬 | 三信電気 | 東陽工業 | 三菱商事 |
| アステラス製薬 | 三電興業 | 東レ | 三菱東京UFJ銀行 |
| アストラゼネカ | 参天製薬 | トーアエイヨー | 三井住友 |
| 麻生病院 | 三和化学研究所 | トーキン工業 | 三井住友 |
| アツデン | GEコマースファイナンスジャパン | トクホン | 三井住友 |
| アトムメディカルインターナショナル | GEキャピタル リーシング | トヨ死動車 | 三井住友 |
| アナログ・デバイス | GEヘルスケア・ファイナンス・サービス | 戸田中央医科グループ | 三井住友 |
| 天野エンザイム | GEアビオサービス | 富士化学工業 | 三井住友 |
| アメカン・エクスプレス・インターナショナル | GEコーポレートファイナンス・サービス | 鳥居薬品 | 三井住友 |
| アラクス | GE航空機エンジン | ナカニ | 三井住友 |
| アルフレッド・ダンヒル | GEコンシューマーファイナンス | ナカノド建設 | 三井住友 |
| アロカテックニカルサービス | GEコンシューマープロダクツジャパン | ナップ | 三井住友 |
| いずみクリニック | GEヘルスケアバイオサイエンス | ナ・デックス | 三井住友 |
| 一誠堂書店 | GE横河メディカルシステム | 西陣病院 | 三井住友 |
| いの製菓 | GE横河メディカルシステム労組 | 西川計測 | 三井住友 |
| 伊藤忠商事 | GEリアル・エステート | 日医工業 | 三井住友 |
| 稲畑産業 | ゼリングループ | 日揮 | 三井住友 |
| イビデン | 塩野義製薬 | 日研化学 | 三井住友 |
| 岩塚製菓 | シスコシステムズ | 日本製薬 | 三井住友 |
| AIG | シスメックス | ニッセン・ジーイー・クレジット | 三井住友 |
| AIG エジソン生命保険 | 渋谷工業 | 日総工業 | 三井住友 |
| 永生病院 | 島津インターナショナル | 日東ベスト | 三井住友 |
| ユー・アンド・デイ | 島津製作所 | ニテック | 三井住友 |
| ユーザイ | 清水建設 | ニプロ | 三井住友 |
| エース総合リース | ジャガー・ルクスト | ニプロファーマ | 三井住友 |
| AZE | 商船三井 | 日本化薬 | 三井住友 |
| エイ・コレクション | 松竹 | 日本経済団体連合会 | 三井住友 |
| エスエス製薬 | 昭和アステック | 日本ケミファ | 三井住友 |
| エスピー・パシフィック | ジョンソン エンド ジョンソン | 日本コナラクス | 三井住友 |
| NTT ファイナンス | 新川電機 | 日本GE プラスティックス | 三井住友 |
| FDK | 新進 | 日本シエーリング | 三井住友 |
| エプレン | すかひらく | 日本システム技術 | 三井住友 |
| エム・アイ・ピー | 菅沼製作所 | 日本新薬 | 三井住友 |
| エントレスハウザー ジャパン | 杉田製線 | 日本生命保険 | 三井住友 |
| オイルス工業 | スズケン | 日本製薬 | 三井住友 |
| 大塚製薬 | 住友化学工業 | 日本製薬団体連合会 | 三井住友 |
| オーティーエス技術サービス | 住友商事 | 日本ゼネラル・エレクトロニクス | 三井住友 |
| 大林組 | 住友電気工業 | 日本電気 | 三井住友 |
| 大豆生田金属 | 住友電装 | 日本電子応用 | 三井住友 |
| 大宮シテロタークラブ | スリーエムヘルスケア | 日本トランスシティ | 三井住友 |
| 岡崎製作所 | 聖マリアンナ医科大学 | 日本ヒューレット・パッカード | 三井住友 |
| 沖電気工業「愛の募金」 | セガサミーホールディングス | 日本ヒューレット・パッカード労組 | 三井住友 |
| オウラボス精機工業 | ゼブラ | 日本バーリンガー・インゲルスハイム | 三井住友 |
| 小沢医科器械 | ゼリア新薬工業 | 日本メジフィック | 三井住友 |
| 小野薬品工業 | セレモアツクま | 日本メトロニック | 三井住友 |
| オフイターネ パネライ | 千寿製薬 | ネグロス電工 | 三井住友 |
| オリエンタルモーター | セントジュードメディカル | ノバルティス ファーマ | 三井住友 |
| 海外医療機器技術協会 | セントラル硝子 | ノバルティス ディスクファーマ | 三井住友 |
| 外務省 | 全日空 | バイエル薬品 | 三井住友 |
| 花王 | 全日本病院協会 | 浜製作所 | 三井住友 |
| カガミクリスタル | 全業工業 | 浜松ホニクス | 三井住友 |
| 科研製薬 | ルキア | ハラマウントヘッド | 三井住友 |
| カシオ計算機 | 第一三共 | ヴァンクリーフ&アーベル | 三井住友 |
| 鹿島建設 | 第一薬品工業 | ヴァンシュロン・コンスタンタン | 三井住友 |
| 桂建設 | 大正製薬 | バンダイ | 三井住友 |
| カネボウ | 大成建設 | バンドー化学 | 三井住友 |
| カルテイエ | 大日本住友製薬 | 万有製薬 | 三井住友 |
| カオパデン | 大鵬薬品工業 | ピアジェ | 三井住友 |
| 北里大学医学部 | 大洋薬品工業 | 日置電機 | 三井住友 |
| キッコーマン | 大和証券エスエムビーシー | 東山工業 | 三井住友 |
| キッセイ薬品工業 | 大和証券グループ | 久光製薬 | 三井住友 |
| キッツ | 武田薬品工業 | 日立製作所 | 三井住友 |
| 紀文食品 | 竹中工務店 | 日立メテコ | 三井住友 |
| キャンノン | 田中三誠堂 | ファイザー | 三井住友 |
| 京セラ | 田辺製薬 | 三菱金属商事 | 三井住友 |
| 杏林製薬 | タンヒル | フタバ工業 | 三井住友 |
| 協和調剤 | 中央電材 | フタバ電子 | 三井住友 |
| 共和電業 | 中興製薬 | フジクラ | 三井住友 |
| 協和発酵工業 | 協外製薬労組 | 富士機材 | 三井住友 |
| キリンファーマ | 地球市民財団 | 富士ゼロックス | 三井住友 |
| ゲラクノスミスクライン | チャリティ・ブライトホーム | 富士電機ホールディングス | 三井住友 |
| グランド山形リース | ツムラ | 富士レボ | 三井住友 |
| クワナップ | 帝國通信工業 | 扶桑薬品工業 | 三井住友 |
| クレハ | テイクメディックス | アリスル・マイヤーズ | 三井住友 |
| クロー | 帝人 | フルタカ電気 | 三井住友 |
| クローハルニュークリアアパレルジャパン | テルモ | 古畑病院 | 三井住友 |
| 湖池屋 | 電通 | プロネクサス | 三井住友 |
| 廣貴堂 | 電通国際情報サービス | ベネフィット・ワン | 三井住友 |
| 甲府紙器 | 東亜電気工業 | ホーム&メルシエ | 三井住友 |
| 港北出版印刷 | 東海ゴム | ホーユー | 三井住友 |
| 向洋電機 | 東海ゴム (タイ) Tokai Eastern Rubber | ポッシュロムジャパン | 三井住友 |
| 興和 | 東京医科歯科大学歯学部 | | 三井住友 |

合計 373 法人・団体

会員のひろば

「現場の苦勞に感謝」

上羽讓一（個人会員）

会社生活を卒業し、人生二毛作などと粋がって「社会福祉」の領域に足を踏み入れた。（※）同じ日本の異なった風景に驚き、また体験の機会を得て感謝している。

福祉や社会保障の環境は、「産業化」「都市化」の進展で次第に充実し、1973年には遅ればせながら「福祉元年」と呼ばれるようになり、年金・医療制度の改革など社会保障制度が重視されてきた。

しかし、1973年の第一次オイルショックで、インフレと経済停滞の併存するスタグフレーションによって財政見直し期に入り、多年に亘って年金給付、医療保険給付などの調整がされてきた。

そんな環境の中、家族の支援も無く、独居で年金や介護保険に頼り、時には生活保護の必要な高齢者や障害者、離婚の増加で困難な生活を強いられている母子家庭、年収200万円以下の低所得で将来に不安を持ち続ける青年たちなど

豊かな日本という社会の中で多くの苦悩する人に出会った。

一方、福祉の現場で献身的に働く多くの人とも識り合った。現在の福祉は辛うじてこれらの人々に支えられていると感じている。

先日NGO「ペシャワール会」の伊藤和也さんの悲報を知った。アフガンの子供たちに十分な食事をとの信念で日々活動していたという。

国内や海外の福祉の現場で働く人々にささやかな支援を続けたいと思う。

PHJの活動にエールを贈ると共に、海外現地で活躍しているスタッフの皆様、ご苦労様！

※事務局注：上羽さんは社会福祉士の資格を取られ現在「多摩南部成年後見センター」に登録、社団法人「東京福祉士会」研修委員でもあるとの事です。



2009年カレンダー

今年もまた皆様お待ちかねのピープルズ・ホープ特製カレンダー（インドネシア、カンボジア、タイ、中国等の子供たちの絵を使用）を作成しました。お部屋に飾って一年を通して使っていただければ幸いです。お申し込み、お問い合わせは下記の事務局まで



サイズ：51.4×36.4cm（使用時）
日にちの余白の部分に予定が書き込めて便利です！



インターンの研修報告



4週間という大変短い期間ではありましたが、ピープルズ・ホープ・ジャパンの活動にインターンとして参加できる機会を得たことを、とても幸せに思っています。大学で国際開発協力について学ぶ中で、実践の場を自分で実際に見てみたいという気持ちからこのインターンに参加させていただいたのですが、寄付集めのための企業回りやオフィスでの調査活動など、様々な活動に携わる機会を与えていただいたおかげで、とても充実した時間を過ごすことができました。大学の講義や文献からは決して得ることのできない貴重な経験を支えてくださった皆様に感謝し、ここで受けた刺激を次の行動につなげ、さらに発展させていこうと思います。

(ICU 教養学部国際関係学科3年 塩澤 萌)

発行：ピープルズ・ホープ・ジャパン / 発行責任者：須見 彰 / 編集人：別所 信子 / 発行日：2008年10月1日

〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32 TEL：0422-52-5507 FAX：0422-52-7035

E-mail：info@ph-japan.org インターネットホームページ：http://www.ph-japan.org

今日からあなたも地球人 個人会員・ホープパートナー会員募集中！

FAX 0422-52-7035

ピープルズ・ホープ・ジャパン 行

個人会員申込書 会費3,000円/年・口× 口 = 円/年

ホープパートナー会員申込書 会費3,000円/月

の中にチェック☑を入れて下さい。

ふりがな

氏名

電話

自宅住所 〒

勤務先

電話

お申込みは、郵送、FAX、ホームページなど、どのような方法でも結構です。後程送金方法を連絡させていただきます。